

福祉サービスの知識等

問題 46 ～ 問題 60

問題 46 面接場面におけるコミュニケーション技術について、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 「どのようなことでお困りですか」という質問は、クローズドクエスションである。
- 2 「なぜ」で始まる質問は、クライアントの戸惑いが増幅することが多いので、注意が必要である。
- 3 面接を開始する際には、面接の終了時間をクライアントと確認しておくことが望ましい。
- 4 観察には、非言語的メッセージを捉えることは含まれない。
- 5 共感とは、クライアントの立場であれば、どのような気持ちになるだろうか、と想像して感じ取ることである。

問題 47 ソーシャルワークに関する次の記述のうち、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 ソーシャルワークは、人権を尊重し、生活課題を有する人々がつながりを実感できる社会への変革と社会的包摂の実現を目指している。
- 2 チームアプローチでは、それぞれの専門職の役割を曖昧にすることがよい。
- 3 アセスメントに当たっては、クライアントの家族関係や経済状況、地域の社会資源など多岐にわたる情報収集が必要である。
- 4 アセスメントシートを使用する際は、すべての項目を順番通りに聞かなければならない。
- 5 コンサルテーションとは、関連機関や関連領域の専門家との相談等により、援助者が専門的助言や示唆を受けることである。

問題 48 ソーシャルワークにおける相談援助者の基本姿勢として、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 クライアントに対していかなる差別もしない。
- 2 判断能力が低下しているクライアントであっても、自己決定を尊重して支援する。
- 3 クライアントから得た個人情報は、クライアントの同意を得ないで、近隣住民からの照会に応じて提供してよい。
- 4 支援計画では、短期・長期などの期間を設けることなく、目標を立てる。
- 5 クライアントが抱えている不安、ためらい、遠慮などに注意する。

問題 49 ソーシャルワークにおける地域援助について、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 専門家によって行われるため、地域住民の参加は必要ではない。
- 2 地域アセスメントの手法には、福祉施設への聞き取り調査が含まれる。
- 3 アドボカシーとは、地域に出向き潜在的なニーズを発見することである。
- 4 地域包括ケアシステムを構築するプロセスには、地域資源の発掘が含まれる。
- 5 高齢者の孤立死を防ぐため、見守りネットワークを構築することが重要である。

問題 50 介護保険における訪問介護について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 訪問介護は、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう援助を行うものである。
- 2 利用者の同居家族等に障害や疾病がなくても、その他の事情により、家事が困難である場合には、生活援助を利用することができる。
- 3 事業所は、訪問回数が少ない利用者には、訪問介護計画を作成しなくてもよい。
- 4 事業所のサービス提供責任者には、特段の資格要件はない。
- 5 事業所のサービス提供責任者には、サービス担当者会議への出席等により、居宅介護支援事業者との連携を図ることが業務として位置付けられている。

問題 51 介護保険における通所介護について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 通所介護の基本方針には、利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることが含まれる。
- 2 機能訓練指導員を1人以上配置しなければならない。
- 3 事業者は、事業所ごとに通常の事業の実施地域を定めなくてもよい。
- 4 事業者は、利用料以外に利用者が使用したおむつ代の支払いを受けることができる。
- 5 事業所の建物と利用者の居住建物が同一の場合、その建物に居住する者以外に、当該事業所を利用させてはならない。

問題 52 介護保険における訪問入浴介護について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 指定訪問入浴介護の基本方針には、居宅での入浴の援助を行うことによって、利用者の心身機能の維持を図ることが含まれる。
- 2 サービスの提供の責任者は、入浴介護に関する知識を有していなくてもよい。
- 3 サービス提供に使用する浴槽は、あらかじめ利用者が用意しなければならない。
- 4 事業所ごとに、医師を1人以上配置しなければならない。
- 5 事業者は、セクシュアルハラスメントにより、従業員の就業環境が害されないよう必要な措置を講じなければならない。

問題 53 介護保険における短期入所生活介護について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 短期入所生活介護計画は、利用期間にかかわらず、作成しなければならない。
- 2 居室については、日照、採光、換気等利用者の保健衛生、防災等について十分考慮しなければならない。
- 3 利用者20人未満の併設型の事業所の場合、介護職員は常勤でなくてもよい。
- 4 事業者は、利用者から理美容代の支払いを受けることができる。
- 5 事業者は、その利用者に対して、利用者の負担により、当該指定短期入所生活介護事業所の従業者以外の者による介護を受けさせることができる。

問題 54 介護保険における住宅改修について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 事前の支給申請に必要な「住宅改修が必要な理由書」は、原則として、被保険者本人が作成する。
- 2 取付工事の必要のないスロープによる段差の解消は、住宅改修費の支給対象とならない。
- 3 ポータブルトイレの設置は、住宅改修費の支給対象とならない。
- 4 浴室の床材を滑りにくいものに変更することは、住宅改修費の支給対象となる。
- 5 転居前の住宅について住宅改修費の支給を受けた場合、転居後の住宅については住宅改修費の支給を受けることができない。

問題 55 介護保険における認知症対応型通所介護について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 指定認知症対応型通所介護の基本方針には、利用者の社会的孤立感の解消が含まれる。
- 2 単独型・併設型指定認知症対応型通所介護事業所は、機能訓練室を備えなければならない。
- 3 単独型・併設型指定認知症対応型通所介護事業所の生活相談員は、介護支援専門員でなければならない。
- 4 若年性認知症の要介護者は、指定認知症対応型通所介護を利用することができない。
- 5 認知症対応型通所介護計画の作成後に居宅サービス計画が作成された場合は、当該認知症対応型通所介護計画を必要に応じて変更する。

問題 56 介護保険における小規模多機能型居宅介護について正しいものはどれか。

3つ選べ。

- 1 利用者の居宅又はサービスの拠点において、家庭的な環境と地域住民との交流の下で行わなければならない。
- 2 宿泊サービスでは、利用者1人につき1月当たりの利用日数の上限は定められていない。
- 3 宿泊サービスの利用者が1人であれば、夜間及び深夜の時間帯を通じて、夜勤や宿直を行う職員を置かないことができる。
- 4 通いサービスの利用者が登録定員に比べて著しく少ない状態が続くものであってはならない。
- 5 宿泊室については、宿泊専用の個室でなければならない。

問題 57 指定介護老人福祉施設について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 入所者の意思及び人格を尊重し、常にその者の立場に立ってサービスを提供するように努めなければならない。
- 2 災害等のやむを得ない事情があっても、定員を超えて入所させることはできない。
- 3 指定介護福祉施設サービスを受ける必要性が高いと認められる入所申込者を優先的に入所させるよう努めなければならない。
- 4 入所者の入浴又は清拭の頻度の下限については、定めがない。
- 5 夜間には、常勤の介護職員を置くことは義務付けられていない。

問題 58 生活保護制度について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 すべて国民は、生活保護法の定める要件を満たす限り、保護を無差別平等に受けることができる。
- 2 保護は、原則として、世帯を単位として行われる。
- 3 介護施設入所者基本生活費は、住宅扶助として給付される。
- 4 介護扶助は、原則として、金銭給付により行われる。
- 5 被保護者の収入として認定されるものには、老齢基礎年金が含まれる。

問題 59 成年後見制度について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 成年後見制度の理念の一つとして、成年被後見人等の自発的意思の尊重がある。
- 2 成年後見人の選任は、都道府県社会福祉協議会が行う。
- 3 成年後見人は、弁護士に限られる。
- 4 任意後見では、任意後見人の不正や権限濫用がないよう監督するために、任意後見監督人が選任される。
- 5 任意後見人の配偶者は、任意後見監督人となることができる。

問題 60 高齢者虐待防止法について適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 高齢者虐待には、養介護施設従事者等によるものが含まれる。
- 2 養護者の高齢者に対する著しい暴言は、身体的虐待に該当する。
- 3 高齢者を衰弱させるような養護者による長時間の放置は、著しく養護を怠ること（ネグレクト）に該当する。
- 4 介護支援専門員には、高齢者虐待の早期発見の役割は期待されていない。
- 5 都道府県は、養護者の負担を軽減するため、養護者の相談、指導及び助言その他の必要な措置を講じなければならない。